

<徳島市：自転車利用環境整備>

施策名	自転車利用環境整備
取り組みの背景 地域の交通環境問題 行政・市民ニーズ 交通基盤シーズ など	背景 1：中心市街地への車の流入が多く、朝夕の道路混雑は恒常化し深刻な状況である。 背景 2：自転車利用促進のための時代の要請
目的・ねらい 目的・ねらい 対象交通 など	● 目的・ねらい：「自動車や公共交通機関と並び、都市交通体系を担う交通手段」を目標とし、道路交通渋滞の緩和・解消が図られ、CO₂の削減が達成され健康的な地球環境が形成されること。 ● 対象交通：中心市街地へ流入する自動車交通に対し、自転車単独、あるいは自転車とバス、鉄道との連携によって自動車を代替する交通手段となるよう育成する。
取り組みの経緯 経緯・熟度 など	平成 9 年度より、国交省徳島工事事務所、徳島県、徳島市、民間団体等を委員とする「徳島の自転車交通を考える会」を設立し、徳島市における自転車交通の問題点と課題を抽出・整理し、平成 12 年度に自転車交通マスタープランが策定された。 連続した走行路を構築するため自歩道の分断箇所の整備、また安全性の向上を図るため分離型での自転車帯の確保など、整備されつつある。
主体・広報・費用 実施主体 検討組織 広報スケジュール 費用負担 など	● 実施主体：徳島市 ● 検討組織：国交省徳島工事事務所、徳島県、徳島市、学識経験者、警察、自転車軽自動車商協組合、消費者団体連合会、青年会議所 ● 費用負担：それぞれの所管で負担、実施されている。

実施概要	●対象地域：徳島市中心市街地
対象地域 実施日時 施策内容 など	●実施日時：平成 12・13・14 年度 ●施策内容：国道に於いて、分離型での自転車帯の整備また縦断勾配の緩和等整備され、県道に於いても、分離型での自転車帯の整備を行った。また市道に於いても、分離型での自転車帯の整備、街路事業での自歩道の整備、コミュニティ道路の改良事業等を行った。
効果測定内容	●効果把握結果： 自転車利用促進のための自転車交通の安全性、快適性が少しでも高められた。
測定内容 効果把握 など	
取組上の課題	自歩道分断路線の早期整備、自転車道の構造の見直し、道路空間の有効利用、自転車駐車場の整備等多くの課題はあるが、地域の事情も勘案しつつ整備を進める。
合意形成 費用負担 など	
その他特記事項	自転車道ネットワークの整備が優先であり、安全に自転車利用が可能な環境を早急に構築する必要がある。
今後の方向性 地域指定 等	優先順位や手法を決定しながら、可能性のある箇所より整備を進める。

以上

都道府県市名 : 徳島県徳島市
 担当部局名 : 道路建設課